



加茂の里心を愛する仲間たち

今、加茂の里山を守ろうと地道な活動をしているグループが増えました。そしてその活動は何気なく暮らしている地域住民にも少なからず知られるようになりました。以後毎回、そのグループを紹介していきます。その一回目は、市原ネッサンス（山川建夫代表）は4年前に土太郎の滝を復活させる人達と小学校のPTA会長OBの方達とが協力して立ち上げられました。そもそもは、東京でマスコミ関係の仕事をしていた山川さんが18年前に加茂の空気に魅せられ移住し、その頃から加茂の自然が不法投棄などで壊されてゆくのを見かねて保護活動をしたのが始まりました。そして運命的な出会いがありました。それは松本靖彦先生との出会いでした。



「静の山川さん」にバイタリティーに富む「動の松本先生」が共感しコンビを組んだのがベストマッチング。それが現在の大きな活動に繋がっているのです。

加茂には数十年前の教え子も多く、人望も厚い松本先生には一言声を掛けられれば沢山の協力者が集ります。

市原ネッサンス（山川建夫代表）は4年前に土太郎の滝を復活させる人達と小学校のPTA会長OBの方達とが協力して立ち上げられました。そもそもは、東京でマスコミ関係の仕事をしていた山川さんが18年前に加茂の空気に魅せられ移住し、その頃から加茂の自然が不法投棄などで壊されてゆくのを見かねて保護活動をしたのが始まりました。そして運命的な出会いがありました。それは松本靖彦先生との出会いでした。

加茂里山通信

平成20年春号
発行 市原商工会議所 加茂里山通信編集部
発行責任者・編集長 佐久間眞明



活動の始り土太郎の滝

新入学おめでとう！加茂の宝たち

富山小学校 3名

先生から
きまりを守って何でも一生懸命頑張る子供になつて下さい。3人と少ないですが仲良く協力し合って学校生活を楽しんでください。

白鳥小学校 5名

元気な源だ！
今年の加茂地区内4小学校合計の新生児が29名と相変わらず寂しいですが、そんなことは全く気にせず元気に学校生活を楽しんでいるのが当の1年生たちです。我々大人も本当に元気をもらいます。ガンバレ！加茂の宝たち！

里見小学校 8名

男子4名 女子4名 計8名の元気でなかよし1年生です。みんな落ち着いていて先生の言う事を素直に聞く子供達で、これからの活動が楽しみです。

高滝小学校 13名

男子4名 女子4名 計8名の元気でなかよし1年生です。みんな落ち着いていて先生の言う事を素直に聞く子供達で、これからの活動が楽しみです。

飯給駅

自渡す限りの 菜の花の海
ひとりで眺める 飯給駅
春は来たのに あなたは遠い
はかない女の この思い
心をせて 香りをのせて
小湊鉄道で 送ります

4月23日CD続！ 演歌 飯給駅

♪消えない消えない 面影ひとつ
包んであげたい 飯給駅
どうせいつに ねないふたり
心はいつでも すれ違い
切なく染まる 情けの花を
きれいに育て 届けます

作詞 NO Moss
作曲 光義
編曲 花岡 優平
製作 演歌会（敬称略）

高滝神社の石段の上方で、向かって右側にあった坂本屋旅館の三女になる方の話によると、当時の坂本屋の主人で平野保太郎氏と、近所の高橋佐一氏、戸谷半三郎氏の三人が、旅の芸人が商人からもらった「菜の種子」を養老川の川岸の畑に播いたのが「加茂菜」の始まりということである。漬物にしたところ今までの菜の漬物より味の良いものができたので、翌年大量収穫を考へて川岸以外の畑に播いたが、味が悪く失敗に終わったので以来この菜は川岸の畑だけで作るようになったといふことだ。



「今日のはあつたけし花見でんすつべよ」
「いーぐれんねーな。ほんじゃーよつちゃんとかんちゃんもよんべー。あつそうだ！たるべいもよんでつべ」
「たるべいもよぶのはいいけれど、あんやうはおおぐれいだかなー。金貨はどうすつだよ」
「そーだなたるべい半分、あとはよばらばだー」
「そでつべー」
（戸谷里山通信員）

「今日はあつたけし花見でんすつべよ」
「いーぐれんねーな。ほんじゃーよつちゃんとかんちゃんもよんべー。あつそうだ！たるべいもよんでつべ」
「たるべいもよぶのはいいけれど、あんやうはおおぐれいだかなー。金貨はどうすつだよ」
「そーだなたるべい半分、あとはよばらばだー」
「そでつべー」
（戸谷里山通信員）

番外編

木に花が咲く風情がとても印象的な梅でした。
3月になると上旬に枝垂れ梅、中旬には思いのままと続きます。
特に思いのままだ、明治時代に戸谷さんの御祖父さんが当時でも非常に珍しかったこの品種を一本だけ自宅の庭に植えたのが始まりでした。まさに「思いのままだ」の名のとおり、同じ枝に紅、淡紅色、白、或いは一輪の花に白とピンクのまだらの花などを咲き分け、しかも毎年色の違う花をつける稀有な梅なので当の戸谷さんにも花の色が予測できません。市原市内にもそう数多くない希少品種で、最初の一本から四本に株分けされ、香りもまた素晴らしい戸谷さんは「時代と言わく、明治の香りがします」と感慨深げです。四月になるとこれも明治時代に久留里の神主さん宅から分けてもらった百年を超える岩つじの紫の花と濃いピンクの八重桜の出番です。これも安政生まれの御祖父さんが植えて以来、根元に新しい芽が出ると元の木が枯れ、それを繰り返して百四十年という時を越えて戸谷家の庭を彩っています。

魚屋の戯言

今回の戯言は魚から離れて春の花の話です。高滝から里見に向かう途中の本郷部落に梅や桜など春の花がとてきれいに咲き乱れる見事な庭があるので読者の皆さんにご紹介したいと考えました。
庭の持ち主のお名前は戸谷浩さん・夫妻。手広く農家をやる傍ら句を詠んだり画にも通じ、花や菜を趣味をお持ちの粹人だった先代や先々代から受け継いだ庭を丹精こめて守つておられるとても教養豊かな素敵な夫婦です。仕事で戸谷家にお邪魔した際に拝見し、あまりの見事に「本郷戸谷庭園」と勝手に命名させて頂きました。

第20回加茂地区カラオケ大会

3月20日の春分の日、冬日で強風という大荒れの日だったが、22日は一転、桜の開花も告げられた暖かい春の一日となった。
会場はおなじみの「ブリック＆ウッドクラブ」、ゲストも3年連続の「大樹映美さん」。

関茂さん優勝！

出場したのは21人。今回は審査の精度を上げるため、カラオケのガイドメロディをオフにしたこともあり、少し勝手が違つたようだ。
上位入賞者は次の方々です。
優勝 関茂さん 「湾岸ホテル」
準優勝 遠藤キミさん 「うすゆき草」
第3位 子安政義さん 「伊豆の渡り鳥」
佐久間編集長は、奇しくも昨年と同じ第9位入賞でありました。（北里山通信員）

真高寺山門（飯給）

西飯給の集落から真高寺入口の案内を入り、ダラダラ坂を登る。この季節、華やかな桜並木を眺めながら足をを進めると、それは大きくて立派な山門が迎えてくれます。
最勝山真高寺は室町時代、享徳二年に大蔵行高膳師によって開山された曹洞宗の寺院です。明治元年七月の戊辰の役で焼失しましたが、山門だけは奇跡的に残りまし。真高寺の顔であるその山門は、寛政五年（一七九三年）に建立され、二階建ての母屋造りで、一階中央の鏡天井には龍の絵、二階には飛天の絵と、共に狩野景川の作。更に一・二階の幕殿・かえるまに「上下水平の二本のハリの間に入れる補強板」には初代武士伊八郎信由（別名「波の伊八」と呼ばれた鴨川の名彫師）による彫刻が残つていて、江戸時代中期において千葉景を代表する寺院山門であるよう。

真高寺の名の由来は、その昔の望陀郡真地（現在の木更津市真里谷）の城主武田三河守信興の孫が真地の真と前出の存高膳師の高を取って名付けたと言われている。

4月23日CD続！ 演歌 飯給駅

♪消えない消えない 面影ひとつ
包んであげたい 飯給駅
どうせいつに ねないふたり
心はいつでも すれ違い
切なく染まる 情けの花を
きれいに育て 届けます

作詞 NO Moss
作曲 光義
編曲 花岡 優平
製作 演歌会（敬称略）

どうとう加茂にご当地演歌が出来ました。それは「飯給駅」。歌手は霧島美甫さんという方で、なんと霧島昇さんの姉御さんであるとの事。昨日聴かせて頂きましたが、若い人から年配の方まで幅広い年齢層に好かれ、歌われる作品に感じました。カラオケ好きな皆さんは是非練習してみても？
USENカラオケ配信は5月1日から、お楽しみに！
花に囲まれた飯給駅（佐久間里山通信員）
情報提供・取材依頼はお近くの通信員へメールでも受け付けます
尚、紙面及び記事に関するご意見・お問い合わせは、市原商工会議所 市原市五井中央西1-22-25
TEL0436(2)4305 担当 北までEメールアドレスは
ka@aoci.ichihara.chiba.jp
Hd@aochttp://www.yo-ro-factory.co.jp/kansei-hanbu
次回夏号は7月20日発行予定です

加茂地域振興新実施計画

発信

◆新たな観光地づくり
桜、紅葉等の配布による観光地づくり支援

◆南市原活性化支援
調査・研究および地域との検討会議

◆高滝地区地域拠点整備
圏央道およびSAの利用実態 意識調査等

基本的な考え方として、厳しい財政状況の中で計画を実施していくわけですので、待っているだけでは実現しないでしょう。

バラマキ型の施策推進の時代は遠い昔になりました。地域住民の積極的な活動を行政が支援すると思ったほうが現実的です。

加茂里山通信では地域の皆様の活動をこれか

加茂地域振興新実施計画

市原市の新実施計画が策定されました。期間は平成20年度から22年度までの3年間。この中から加茂地区を中心に南市原に関連するものを抽出して報告します。

◆国保健療所の新築
基本実施設計・造成工事・建築工事

◆(仮称)加茂運動広場の建設設計・整備

◆学校規模適正化の推進
小規模校の統廃合

◆房総横断鉄道活性化
モニターツアー実施・新たな資源の発掘

◆おいしい米づくり推進
「養老のめぐみ」の栽培促進

◆有害鳥獣対策
サル、イノシシ等の農産物被害対策

◆淡水魚かい類種増放流
ワカサギ卵、アユ等の稚魚放流

◆(仮称)市原南IC周辺活性化支援
IC周辺のまちづくり促進、民間施設の誘導

◆魅力ある観光地づくり
水と彫刻の丘の改修

◆観光ネットワークの形成
ゴルフ場、工芸家、フィルムコミッションなどの観光資源のネットワーク形成

◆田舎暮らし情報の発信
ウェブサイトを活用した情報

の有志「喜動房」の皆さんが喫茶店を開いて、美味しい巻寿司やお茶菓子を振舞っています。待合室やホームにては手作りの可愛い「切り株椅子」が沢山置かれています。皆さん、週末には気軽に立ち寄り下さい。(佐久間里山通)

里見駅



らも発信していきます。

配布先は加茂地域の各戸と市原商工会議所会
員 行政各部署 国会 県議会、市議会議員と
なっていますので積極的な情報提供をお願い
します。

(大曽根早山通信員)

今年有加茂地区内の小湊鉄道の駅や駅前施設を利用してイベントや交流スポットが開かれ、とても賑やかになりそうです。

里見・飯給・月崎・土総大久保の各駅前には連日数十人のカメラマンが詰めかけ、桜と菜の花の共演に酔いしれながら小湊鉄道の列車を撮影しています。今年は特に人数が多いようです。

大久保駅前

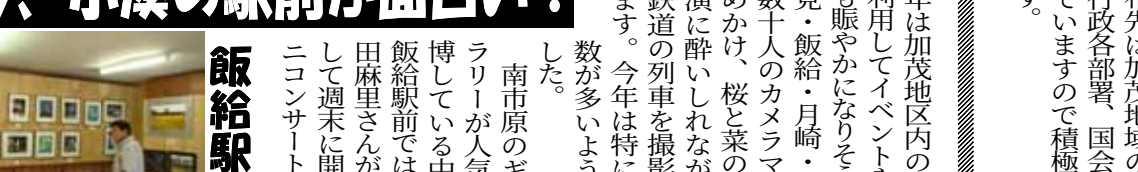
南市原のギャラリーが人気を博している中、飯給駅前は旧木村商店で、田麻里さんが「ギャラリーいたぶ」として週末に開放しています。時々、ミニコンサートも行われるようです。

飯給駅前

里見駅では本郷

今、小湊の駅前が面白い！

こみぞとせん



僕（※石） “夜中” やつてたらや
 本気の答ええられそ
 あいつ 次の日
 皆さん リー劇
 仕事 仕事
 仕事 仕事
 十年前 十年前
 ち組た
 めたか
 はな
 出ます

助健家車

加茂の車窓から

皆さんの日常で何か「楽しみ」ってありますか？私は毎週土・日に、我が子も通っている白鳥小学校の男子の子どもたちとソフトボールをやる事が最近の楽しい事になっています。過去に本誌でも紹介しましたが、白鳥小学校には、「白鳥ファイターズ」というソフトボールチームがあります。たいして強いチームではありません（子供たち、ごめんないが）が、子供たちは年間に県内10大会で、30試合位はこなしています。確かに試合が一番楽しいのですが私が「楽しい」「おもしろい」と思うのは、練習中の会話の中にもたくさんあります。ある子は、「うちは、土・日にお父さんがごはんを作るんだ！」とか、あんまり美味しくないけど」とか、好きな匂いは、ガソリンの匂いだ」とか、油潤連合社の方、有望な人材です。」と、お父さんとお母さんが裸でプロレスをしてた！・・・でもなんでだろう？僕が起きちゃった。」とか、子供にとっては、めっちゃ楽しかった。」とか、子供にとっては、明日は、我が身、かな」と練習中に子供たちに、すごく怒ります。その方たちも後退りする位、怒る時もあります。それでも子供たちは、監督！監督！と。そして「怒りすぎかな？」明日の練習来るかな？」と思う時もありますが、来れば「おはようございます。お願いします。」と元気づく風爽が登場してくれます。「いいかがでしょうか。こんなドキュメンタリー場！」

仕事と一生懸命働かなくてはいけないという時間をとってみてはいかがでしょう。かまいませんよ。私は、十年前位からの講習会に何度か参加してきましたが、ほとんどの講習会でも、講師の方々は「勝負組」とか、「生き残るは……」など何でも行動していないのに結果を求めるばかりでしたが、最近のある講習会で、結果はあとから付いてくる、その過程での過程が大切で、いっぱい失敗してくだ



名入りの
拍子木です
風情が
ありますね！

がんばれ！青年団

さあ、みんなでがんばりましょう！！
(小茶里山通信員)

音信 青年会

音信 おとずれ 青年会の出来る
ずっと前、昭和60年に消防団の
統合が行なわれ、旧第5分団（山
口・駒込）の有志の方々が良き消
防団時代の仲間をつながりを残そ
うと互友会が結成されました。

その互友会も今では解散、地域
の若者たちの集う場がなくなり、
せっかく同じ地域に若者が残って
いるのに交流の場が無いことに寂
しきを感じずにはいられない。

そこで、おじいちゃん・おばあ
ちゃん、の元氣と輪を受け継ぎ、こ
れからの山口町会を担う若者たち
の交流の場を少しでも作ろうと、3年前から話
好き・酒好きの若者たちが集まり、この音信
青年会が結成されました。

最初は年数回の飲み会が主な行事の会でしたが、
が、回を重ねることにメンバーの中から、みんな
の負担にならない程度に『地元の役に立つこ
とをしよう！』と言う意見も出てきて、今では
現役消防団員を含む二十歳代から五十歳前半の
若者、14名で、年末の12月26日、30日の
期間、町会の防災・防犯を目的に、昔ながら
の拍子木を使って町内を巡回しています。

みなさんが山口町会に足を運んだ際に拍子
木を持った青年々を見かけたらは是非をかけて
ください。一人ひとりが地元を愛する若者です
から。

一年中火災予防警報
発令中！カチ！カチ！
(音信青年会
中山 光夫)

その家は
フィンランドの
幸福論から。



ホンカ **検索** 

ホンカ房総 太陽工業株式会社
市原市馬立414-1 Tel 0436-95-5641
www.honka-bouso.com

Today's homes. Naturally.

より豊かで快適な
社会環境づくりを目指して

人と環境をどこまでも大切に。実り多き未来へ、
杉田建材は、地域の皆様と共に歩み続けてまいります



杉田建材株式会社

市原支店



本	社	支	店	〒290-0549	市	原	市	万	田	野	2	6	TEL0436(96)1311	
南	原	支	店	〒290-0023	市	原	市	惣	社	1	-	1	TEL0436(24)0511	
支	店	支	店	〒290-0255	市	原	市	牛	久	4	5	0	TEL0436(50)0111	
木	更	津	支	〒292-0065	木	更	津	市	吾	妻	2	-	7	TEL0438(25)4434

里山の医療

里山の春

今年の春は桜の開花が早く、さらに穏やかな日が続いて満開の桜を長くみることができました。また小湊線沿線と駅周辺に菜の花が満ちて、満開の桜の下に菜の花が咲き乱れるのに列車がやってくるという光景は、地元に住む者にも心安らぐものに映りました。殊に飯給駅・月崎駅は見事に絵になっていました。菜の花は自然と咲いたものではなく、多くのボランティアの方々の努力の成果です。

循環器病センターの内科医が一人体制に

ところでこの四月から私たちの生活と直接関わる医療に様々な変化が起きています。一つは後期高齢者医療制度といわれるメタボ健診が始まるということです。ともに本当の狙いは医療費の削減といわれていますが、全くの説明不足であることは厚生労働大臣も認めるところです。もつと身近な問題では鶴舞の循環器病センターの内科医が削減されたことです。加茂地区の市民病院が医師の引き上げに伴い入院も緊急医療もできない診療所になったのは昨年の話です。南総地区にある循環器病センターは今や加茂地区の人間にとって最も身近な救急対応のある公的な総合病院です。その病院でその日診てくれる内科医はこの四月から一人という体制になってしまいました。十八年度六名の体制には三名、そして今年から二人という体制になってしまったのです。あれだけの総合病院の内科で一人の医師が対応できる患者数、その一人の医師にかかる肉体的精神的負担を考えると、実に深刻な問題であると思えます。その医師にとつ

里山からの発信

信託からの山王

「ここから先は『医者が病院から逃げ出すとき』(米山公啓著、ちくま文庫)という著書とネット上で調べた情報に基づくものです。」

まず医師不足の原因。これには主に二つあって、一つは厚生労働省がこれまで「医者が過剰になる時代が来る」と言い続け、「無駄な医療費が増えて医療費が上がるので医者を減らす必要がある」との論理で医者減らしをしてきたこと。

(しかし、この論理は外国の研究によって否定されている) もう一つは新臨床研修制度が始まり、若い研修医を指導する医者を大学病院などの大きな病院に必要として、派遣していた医師の引き上げということが起こったこと。この二つが重なったことが大きな要因です。これは一年二年で解消されることではないので医師不足の状態は当面続くと考えられます。また小児科医、産科医、外科医などでは仕事の過酷さから志望者が減っているという現実もあります。

「新臨床研修制度」とは患者を診る臨床の研修が従来は必修でなかったことです。研修医が従来は必修でなかったものを必修とし、医師としての人格形成を図り、専門以外の分野にもそれなりに対応できるように、専門的な診療能力を習得させるもので、研修医がアルバイトをせずに研修に専念できる環境を整備することなどを基本的な考えとしています。研修医は有給となり、医局に所属しないままに研修を受けるようになりました。また医師の派遣に関しては大学病院の医局に頼られなければならないのが現実で、医局から医者が派遣されなければ、その地域の病院の死活問題になります。国保市民病院はまさにこの例です。)

国保市民病院からも循環器病センターからも医師が欠落していく背景には何があるのか。この地域に限らず地方の医療体制が崩れていっている背景には何があるのか、私たちを取り巻く医療の現実を私たちはまだあまりに知らないままです。



「病院医は半数以上が赤子になってゐる。・・・勤務医や團寮の平均年収は年々減つてゐる。・・・医療の最前線では、医者やナースは一生懸命働いてゐるし、病院経営者も努力をしてゐない訳ではない。一生懸命に医者も働いても、医療の仕組みが、医者と病院には金が回らないうつ件組になつてしまつたのだ。・・・努力していない人に公平にお金がかつたてゐていかない今の状況では、医者たちが自分たちの立場がいかにひどいものか気がつけば、医療への意欲を失ひ、医療の質の低下は避けられないであらう。今は医者やナースの献身的な努力が、医療のレベルをようやく保つてゐるとしか言いようがない。」解説の中에서도「悪徳医者ばかりに世間の注目が集まる中、多くの医者は患者さんのためになんとかしたいと良心に基づいて医者を志し、劣悪な環境下でもがんばつてゐる」と述べています。

医者の経験や腕の差は診療報酬に反映されておらず、医療の平等のもと、若い医者が診療しても、経験豊富な専門医が診療しても、支払われる金額は同じであり、勤務医である限り一生懸命患者を診る医師だからといって給料は上がらないのです。

外国と比べて

明治以来、日本の医療は競争をさせない、医療情報を出さない。そして平等を貫き、病院は行きやすくしてきました。先進国で大学病院が紹介状なしで診療してくれるのは日本くらいいと言われている。国民健康保険制度でどんな病院も行けば診療してもらえます。また日本の医師は診療を拒むことができません。（アメリカでは医者が患者を診なくてもそれは医者の権利として守られているし、健康保険制度そのものが存在していない）

日本では医者にかかるということではとても恵まれた環境にあります。あまりにも当たり前前で、その便利さに気がついていないことが多いのです。崩壊していると言われるイギリスの医

時間・：十六週間」「医師が必要と認めてから三ヶ月以内に入院できる者・：七・％」一年以上手術の順番待ちをしている者・：四万六千人」「救急外来（一般ではなく救急である）の待ち時間・：四時間以内が目標」イギリス国民は生まれてすぐに地域のホームドクターに登録するよう求められ、家族がどんな専門科疾患を訴えても（薬料を除く）まずはかかりつけ医を受診するよう求められます。かかりつけ医の紹介がなければどんな専門科も受診できないのです。かかりつけ医が必要でないとは判断しない場合、患者が強く希望しても総合病院のような二次医療機関の診療を受けることはできません。しかもかかりつけ医には新規の登録を希望した患者を多忙を理由に断ったり、既に登録しているのにそぐわない患者を抹消し、診療を拒否する権利も認められています。

イギリスは先進七カ国中最下位の医療費水準です。日本は国内総生産比でイギリスの二つ上の六位です。イギリスは既に医療費を増やす政策に転換しており、日本の医療費抑制政策が続けばこの位置は逆転し、先進七カ国中最下位となります。厚生労働省は入院ベッド数の削減を目指し、医療費の更なる削減を目指しています。それが現場の医師と患者や高齢者などの社会的弱者に与へる寄せられていて、「崩壊したイギリス医療を追いかけているように思えてならない」という見方もあります。医療崩壊という言葉が出始めた日本でもイギリスと比べれば遙かによく思えます。しかしいつまで続くとは限りません。既に変化の兆しは出ています。

医食住

高齢化の進む里山に住む者にとって「衣食住」よりは「医食住」です。家族や自分に何があった時に、安心して頼ることができ、短時間で行くことのできる総合病院はぜひとも必要です。そこがまたまやひとつ体制が崩れようとしています。それをたまた眺めているだけでは何も変わりません。よくなることもありません。今ある日本の医療状況を踏まえつつも、利用者の私たちは意思を表明すべきです。明確で継続する意欲なくしてことは動かないからです。

（従天里山通信員）

言っても「市原南IC（仮称）開設に伴う周辺の街づくり」に関する会議で、南市原を盛り上げようとする各団体がどの様な取り組みをしているのか発表するものでした。

集った団体は、お馴染みの「南市原応援団」さんなどいれば、初めて聞く団体もいくつかあり、十数団体に及びました。そんな精鋭の面々や市議の先生方の前で、やはり勝手が違いまして、全く「セリフ」や「カ」や「ンペ」を持ち合わせずアドリブで発表した私は、5分という制限時間のプレッシャーもあったか、言いたかった事を100%表現出来ませんでした。

今回は「顔合わせ」の様な感じでしたが、他の方達の活動やその一生懸命な気持ちが生る声で聞けて、気持ちも盛り上がる良い機会でした。我々「加茂里山通信編集部」も他の元気な団体と連絡を取り合い、加茂地区活性化の一端を担っていければと思います。（編集長）

2月11日、宝船当選者が待ちに待った贈呈式が厳肅な・・・いや、とても和やかな雰囲気の中で行われました。

今年は3つ賞品を増やし、当選者13名のにぎやかな贈呈式でした。

3つ増やした賞は「奉仕部超目玉賞」として商工会議所加茂奉仕部からの大盤振舞いの品です。それは大きな箱袋に入りきれないほどの物がひとりに2袋ずつ渡されたのです。その量に当選者の皆さんはえびす顔。その初めに読者の皆さんの幸せな顔が見られ、我々編集部員もとてもハッピーな気持ちになりました。

（佐久間里山通信員）



編集長が議会に登壇！

言った。言いつても「市原南IC（仮称、開設に伴う周辺部の街づくり）」に関する会議で、南市原を盛り上げるべくしようとする各団体がどの様な取り組みをしているのか発表するものではないか。

集った団体は、お馴染みの「南市原応援団」さんなどいけば、初めて聞く団体もいくつかあり、十数団体に及びました。

そんな精鋭の面々や市議の先方前では、やや「セリフ」や「カマシ」を持ち合わせてアドリブで発表した私は、半分という制限時間のフレッシュさもあってか、言いたかった事を100%表現出来ませんでした。

3月28日申請まで発注してしました。とは



今回は「顔合わせ」の様な感じでしたが、他の方達の活動やその一生懸命な気持ちが生る声で聞いて、気持ちも盛り上がる良い機会でした。我々「加茂里山通信編集部」も他の元気の団体と連絡を取り合い、加茂地区活性化の一端を担っていければと思います。（編集長）

式呈贈

2月11日、宝船「選者が待ちに待った贈呈式が厳肅な・・・いや、とても和やかな霽雨気の中で行われました。

今年は3つ賞品を増やし、当選者13名のにぎやかな贈玉でした。

3つ増やした賞は「奉仕部超目玉賞」として商工会議所加茂支部からの大盛装舞へり品です。それほ大きな大盛装舞へり品です。それほ大きな大盛装舞へり品です。

宝船贈

者の皆さん
者の皆さんはえびす顔
の幸せな顔
が見られ、



袋すつ渡されたのです。その量に当選
年之初めに読

我々編集部
員もとても
ハッピーな
気持ちにな
れました。

佐々木山通(氏)

